【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2009-525245(P2009-525245A)
【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-027
【出願番号】特願2008-552713(P2008-552713)
【国際特許分類】
Ｃ０１Ｇ　39/00　　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 201/00　　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　 7/12　　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 201/00　　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　11/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０１Ｇ　39/00　　Ｚ
Ｃ０９Ｄ 201/00
Ｃ０９Ｄ　 7/12
Ｃ０９Ｊ 201/00
Ｃ０９Ｊ　11/04

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月19日(2010.1.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
500 nm未満の平均粒度(動的光散乱法によって粒子数加重で測定)を有する、水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
【請求項２】
粒子が、5～60 nmの平均粒度を有するモリブデン酸リチウム粒子であることを特徴とする、請求項１に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
【請求項３】
請求項１または２に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子の製造方法であって、
A)一以上の水溶性化合物の水溶液、
B)有機溶媒または溶媒混合物、および
C)安定剤
から油中水エマルジョンを製造し、次いで、
D)存在する水を、最終生成物に基づいて2重量％以下の残留水含量まで除去する
ことを含む、方法。
【請求項４】
酢酸ブチル、酢酸メトキシプロピル、酢酸エチル、カプロラクトン、Solvesso、トルエン、キシレンまたはそれらの混合物を、B)で使用することを特徴とする、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
PEO-PPO-PEOブロックおよび2000～10 000 g/molのモル質量(DIN 53240のOH価決定法によるモル質量)を有するブロックコポリマーを、C)における安定剤として使用することを

特徴とする、請求項３または４に記載の方法。
【請求項６】
塩化ナトリウム、硝酸銀、グルタミン酸ナトリウム、ポリペプチド、多糖類、ポリヌクレオチド、腐食防止剤、難燃添加剤、レドックス指示薬またはpH指示薬の粒子であることを特徴とする、請求項１に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
【請求項７】
請求項１、２および６のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子を含んでなる、分散体。
【請求項８】
建築材料、被覆剤、接着剤およびシーラント、並びに食料、作物保護および医薬分野のための生成物における、またはその製造における、請求項１、２および６のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子の使用。
【請求項９】
請求項１、２および６のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子を使用することにより得ることができる被覆剤。
【請求項１０】
請求項９に記載の被覆剤で被覆された基材。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７３】
本発明の実施例において、触媒は、顕著に促進された乾燥を導く。これは、幾つかの場合、触媒を含有しない場合よりも2～3倍迅速である。これは、触媒の作用を示す。
本明細書の当初の開示は、少なくとも下記の態様を包含する。
［１］500 nm未満の平均粒度(動的光散乱法によって粒子数加重で測定)を有する、水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
［２］粒子が、150 nm未満の平均粒度を有することを特徴とする、前記［１］に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
［３］粒子が、5～60 nmの平均粒度を有するモリブデン酸リチウム粒子であることを特徴とする、前記［１］または［２］に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
［４］前記［１］～［３］のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子の製造方法であって、
A)一以上の水溶性化合物の水溶液、
B)有機溶媒または溶媒混合物、および
C)安定剤
から油中水エマルジョンを製造し、次いで、
D)存在する水を、最終生成物に基づいて2重量％以下の残留水含量まで除去する
ことを含む、方法。
［５］A)で使用される水溶性化合物が、25℃にて1～89.6 g/100 gの水という溶解性を有することを特徴とする、前記［４］に記載の方法。
［６］モリブデン酸リチウム、モリブデン酸ナトリウムまたはモリブデン酸亜鉛を、A)で使用することを特徴とする、前記［４］または［５］に記載の方法。
［７］酢酸ブチル、酢酸メトキシプロピル、酢酸エチル、カプロラクトン、Solvesso、トルエン、キシレンまたはそれらの混合物を、B)で使用することを特徴とする、前記［４］～［６］のいずれかに記載の方法。
［８］PEO-PPO-PEOブロックおよび2000～10 000 g/molのモル質量(DIN 53240のOH価決定法によるモル質量)を有するブロックコポリマーを、C)における安定剤として使用することを特徴とする、前記［４］～［７］のいずれかに記載の方法。

［９］工程A)～C)の後に得られる混合物は、2重量%～10重量％の水、79重量%～97重量％の有機溶媒、0.01重量%～1重量％のナノ粒子形態で沈澱した塩および0.1重量%～10重量％の安定剤の組成を有することを特徴とする、前記［４］～［８］のいずれかに記載の方法。
［１０］工程D)の後、得られる分散体は、0.5重量％未満の含水量を有することを特徴とする、前記［４］～［９］のいずれかに記載の方法。
［１１］塩化ナトリウム、硝酸銀、グルタミン酸ナトリウム、ポリペプチド、多糖類、ポリヌクレオチド、腐食防止剤、難燃添加剤、レドックス指示薬またはpH指示薬の粒子であることを特徴とする、［１］または［２］に記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子。
［１２］前記［１］～［３］および［１１］のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子を含んでなる、分散体。
［１３］イソシアネートを含んでなることを特徴とする、前記［１２］に記載の分散体。
［１４］建築材料、被覆剤、接着剤およびシーラント、並びに食料、作物保護および医薬分野のための生成物における、またはその製造における、前記［１］～［３］および［１１］のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子の使用。
［１５］前記［１］～［３］および［１１］のいずれかに記載の水溶性化合物のナノ粒子状分散性粒子を使用することにより得ることができる被覆剤。
［１６］前記［１５］に記載の被覆剤で被覆された基材。